

ステップ可変型楽器

ステップ①

ゴムひもと鈴



【ねらい】

- ・見たくなる
- ・聴きたくなる
- ・触りたくなる
- ・楽器と継続して向かい合う

【配慮点】

- ・さまざまな色彩
- ・揺れると光る
- ・音が綺麗
- ・共鳴する（同質）
- ・少しの振動で音が出る
- ・握りやすい形
- ・持ちやすい重さ
- ・手触り



ステップ②

面付きゴムひもと鈴



【ねらい】

- ・手で引っ搔く
- ・手で弾く
- ・手で叩く
- ・手で振る

【配慮点】

- ・ゴムを緩く張る
- ・カラフルな鈴
- ・掴みやすい形状
- ・面を付ける（透明）
- ・フィードバックしやすい
- ・木製・プラスチック製
- ・握りやすい大きさ



ステップ③

面付きゴムひもと鈴



【ねらい】

- ・好きな楽器を通して人とやりとりする楽しさを感じる
- ・面に対する手の操作を引き出す

【配慮点】

- ・面の中にゴムひもと鈴が入っている（面の外のゴムひも、鈴を取り除き平面にする）
- ・鈴フレームを付けることもできる（フィードバックとして）



ステップ④

透明面付き鈴フレーム



【ねらい】

- ・好きな楽器を通して人とやりとりする楽しさを感じる
- ・因果関係を捉えやすくする

【配慮点】

- ・入ってくる刺激を、極力抑える
- ・透明な面のみ（スケルトンにすることで自分の手が見える）
- ・鈴フレーム（フィードバックとして）



ステップ⑤

透明面のみ



【ねらい】

- ・人とやりとりする楽しさを感じる
- ・因果関係を捉えやすくする

【配慮点】

- ・刺激をほとんど除いた、シンプルな作り
- ・透明な面のみ（スケルトンにすることで自分の手が見える）



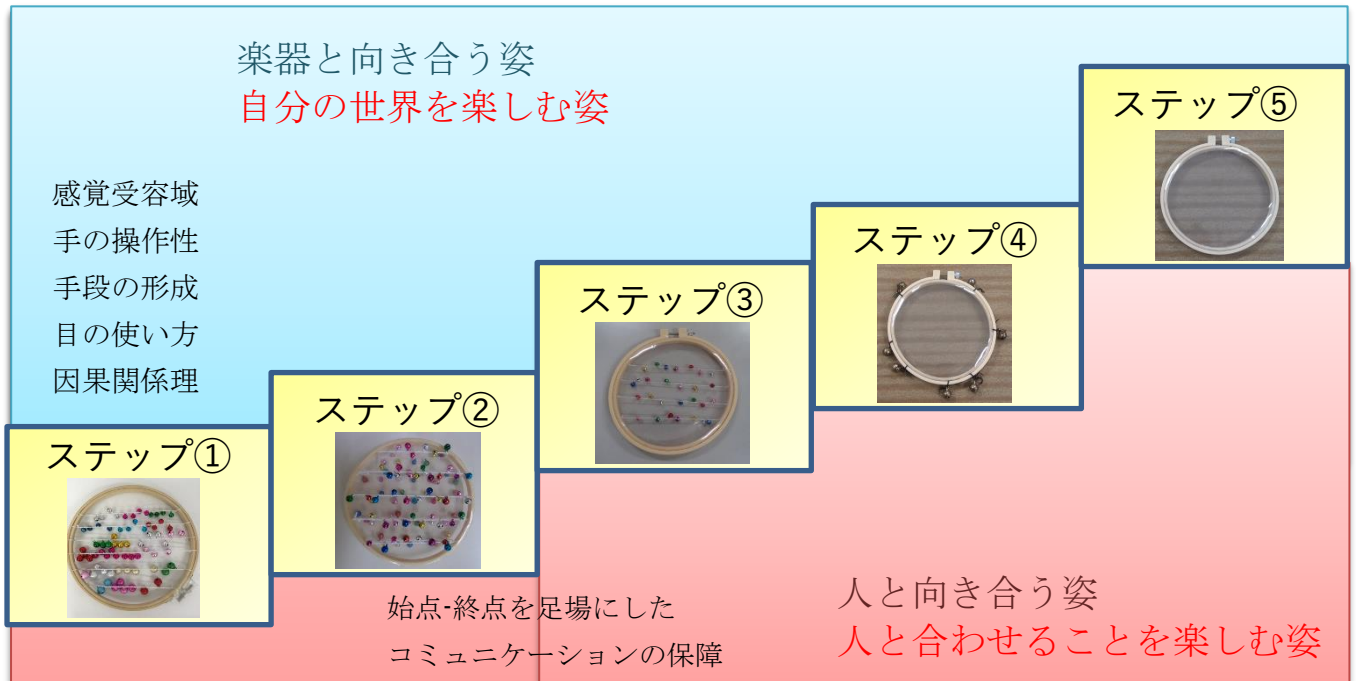
鈴フレームは、子供の実態に合わせて、刺激の調整をおこなう際に使用する。どのステップにも、取り付け可能。

子供の教材や人と関わる姿から見取りをおこない、ステップを行きつ戻りつさせながら、移行させていく。

【材料】

- ・刺繍枠
- ・鈴
- ・ゴムひも
- ・ラミネートフィルム（全て100円ショップで入手できます）

楽器と向き合う姿と人と向き合う姿の相関図



(2022. 金子)